

2024年度 第14回国内研修事業 実施要領

社会福祉法人 清水基金

1. 目的

- ・ 障害理解、権利擁護などを学び、現場での支援力向上を目指すと共に、リーダー養成にもつなげる

2. 対象

- ・ 社会福祉法人・NPO 法人に所属し、障害福祉サービスに従事している方
- ・ 実務経験 3 年以上、上限年齢 40 歳程度の方

3. 定員及び費用

- ・ 定員：24 名程度
- ・ 費用：受講料無料。交通費実費・宿泊費等も基本的に当基金にて負担。
※本研修参加に関連のない費用は自己負担
※前泊等の追加宿泊が必要な方は当基金に要相談

4. 実施日時・会場

- ・ 日 時 2025 年 3 月 7 日(金)～3 月 8 日(土)
※1泊2日の宿泊型研修
- ・ 会 場 研修会場：AP 市ヶ谷
宿泊先：アルカディア市ヶ谷（東京）

5. 申込

- ・ 申込期間 2024 年 10 月 1 日(火)～11 月 7 日(木) ※当日消印有効
- ・ 申込方法 当基金ホームページより所定の書類をダウンロードの上、添付書類と合わせて提出

6. 選考

- ・ 書類選考および合否発表 2024 年 12 月

7. 研修プログラム

- ・ 清水基金ホームページにて掲載中

8. 研修修了後の事項

- ・ 修了時…アンケート実施(研修の評価)
- ・ 修了 6 か月後…レポート提出(研修内容がどのように仕事に活かされたか)

※詳細は清水基金ホームページをご覧ください。

https://www.shimizu-kikin.or.jp/about_business/domestic/



【講師】

- 大塚 晃 一般社団法人日本発達障害ネットワーク 副理事長
経歴 第9回海外研修生。
国立コロニー指導員を経て、厚生労働省入省、障害者自立支援法等の策定に関わる。その後、上智大学社会福祉学科教授に就任、学科長も務めた。
- 岡田 裕樹 社会福祉法人清水基金 主任
経歴 第28回海外研修生。
障害者施設の生活支援員、相談支援事業所の相談支援専門員を経て、のぞみの園研究員として6年間勤務。
- 星名 究 特定非営利活動法人十いろ 理事
経歴 第9回海外研修生。
多機能型事業所施設長等を経て、十いろ理事に就任。新潟県第三者評価推進委員や日本知的障害者福祉協会人材育成・研修委員会委員長も務めた。
- 藤村 出 特定非営利活動法人 SUN 理事長
経歴 第15回海外研修生。
ノースカロライナ大学 TEACCH 部にてインターン。帰国後知的障害者施設施設長、長野県障害者福祉センター所長などを経て、特定非営利活動法人を設立。
- 高橋亜希子 株式会社エンカレッジ 取締役・統括所長
経歴 第28回海外研修生。
ノースカロライナ大学に留学。就労支援事業所所長を経て、発達障害者の就労支援を目的とする株式会社を設立。
- 藤間 英之 特定非営利活動法人秋川流域生活支援ネットワーク 理事長
経歴 第9回海外研修生。
知的障害者施設副施設長を経て、2003年に特定非営利活動法人を設立。あきる野市を中心に障害者・高齢者の支援活動を展開。

2024年度 第14回清水基金国内研修プログラム

	時間	内容	担当
3月7日	～ 9:00	開場・受付	
	9:00～10:20	【講義】 1. 「障害福祉の動向と今後の方向性」	大塚 晃(9)
	10:30～11:30	2. 「障害者の権利擁護と意思決定支援」	岡田 裕樹(28)
	11:35～12:35	3. 「事業所の運営について—新たな事業に取り組む視点—」	星名 究(9)
	12:35～13:35	～ 昼 食 ～	
	13:35～14:35	4. 「自閉症の理解と支援 —TEACCHに学ぶ—」	藤村 出(15)
	14:40～15:40	5. 「発達障害者の就労支援」	高橋亜希子(28)
	15:45～16:45	6. 「地域における一貫した支援体制の構築 —本人を中心とした多職種連携による支援について—」	藤間 英之(9)
	16:50～17:20	【まとめ】 1日目の振り返り、質問等	※()内は海外研修参加の回
17:20～17:30	演習事前説明		
3月8日	9:00～11:30	【演習】 1. 事例研究 ・グループ討議およびプラン作成 ・グループ発表 ・講評	スーパーバイザー 大塚 晃(9) 藤間 英之(9) 星名 究(9)
	11:30～12:30	～ 昼 食 ～	
	12:30～12:45	海外研修の紹介	※()内は海外研修参加の回
	12:45～16:00	2. 個別支援計画の作成 ・演習手順説明 ・事例(事前課題)の選定、グループ討議 および個別支援計画作成 ・グループ発表 ・講評	
		【総括】 ・まとめと質問等	